

会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回竹園学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和6年6月3日（月）開会 10:00 閉会 11:30		
開催場所		つくば市立竹園東中学校 図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	古久保みどり 今井健之 松本祐輔 倉田廣之 中嶋信美 後藤秀一 鈴木敏一 長谷川聖修 浜田博文 北島良巳 窪庭 隆 岩村一代 鷺田美加 田中康海 竹園東中学校 校長：茂在哲司、教頭：大和田哲也 教務主任：鈴木優庸 副教務：小神野真人 竹園東小学校 校長：皆川正美、教頭：岡宮 敏、赤羽岳彦 竹園西小学校 校長：田中真樹子 副校長：大山英樹 教頭：永井明子 教務主任：吉村哲一		
	その他			
	事務局	教育局次長：久保田靖彦 生涯学習推進課参事：山口健次 生涯学習推進課課長補佐：瓜阪恵理名 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上和宏 地域連携教育指導員：酒井和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				
議題		1 学校運営の基本方針について 2 熟議 「地域とともにある学校とは？～学校のハードル（バリア）を下げる方法～」 3 その他		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日
会	1 開会			

議 次 第	2	任命書交付
	3	教育長挨拶
	4	説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて
	5	会長・副会長の選出
	6	協議 (1) 学校運営の基本方針について (2) 熟議「地域とともにある学校とは？ ～学校のハードル（バリア）を下げる方法～」 (3) その他
	7	閉会

<審議内容>

1 開会

事務局：ただ今から、令和6年度 第1回 竹園学園コミュニティ・スクール協議会を開会いたします。

はじめに、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則第6条第2項では、「会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。」としております。本日の出席委員数は25名であることから、会議が成立していることをお知らせいたします。

会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。事務局案として竹園東中学校鈴木先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

参加委員：承認します。

事務局：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくお願いいたします。

2 任命書交付

事務局：始めに「任命書」の交付をいたします。任命書の交付は五十音順で代表者1名とさせていただきます。

（「任命書」を今井委員に交付）

続きまして、地域学校協働活動推進員の御紹介と委嘱状の交付を行わせていただきます。

竹園学園で、学校と地域をつなぐパイプ役となる地域学校協働活動推進員を協議した際、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者として倉田廣之委員、中嶋信美委員、後藤秀一委員を竹園学園から御推薦いただきました。地域学校協働活動推進員設置要項第3条に該当するものとして、「地域学校協働活動推進員」を委嘱させていただきたいと思います。

（「委嘱状」を倉田委員、中嶋委員、後藤委員に交付）

ありがとうございました。お席にお戻りください。

なお、この会議において皆様は、非常勤特別職として任命され任期は1年となります。また、守秘義務等の責務がございます。御留意ください。

皆様の任命書については、机の上にございますので御確認ください。委員の

皆様の自己紹介に関しては、この後お時間を取らせていただきます。御了承ください。

3 教育長挨拶

事務局：続きまして、つくば市教育長森田から挨拶を預かっておりますので、教育局次長久保田が代読いたします。

事務局(久保田次長)：森田教育長の挨拶を代読させていただきます。

皆さんこんにちは。教育長の森田でございます。

本日はお忙しい中、第1回竹園学園コミュニティ・スクール協議会に参加していただきありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては当協議会の委員を快くお引き受け頂き、深く御礼申し上げます。

本年度、竹園学園においては、法に基づいた協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」が本格始動します。昨年度1年間の推進会議を通じて、目指す児童・生徒の姿や、学校と地域が子どもたちのためにどのような協力ができるかを、時間をかけて話し合っていたいただいたことと思っておりますが、その話し合いを基に、より具体的な議論を深めていただければと思います。

コミュニティ・スクール協議会の設置は、ゴールではなく、スタートラインであり、また、すぐ目に見える成果が出るとも限りません。しかし、委員の皆様の方を合わせ、未来を担う子どもたちのために何ができるのかを考えていくことで、必ず、それぞれの学校の実情にふさわしい地域との連携の在り方が生まれてくるものと感じております。

参考として、つくば市のモデル地域として、令和4年度から先行的に「コミュニティ・スクール」を導入した吾妻学園の取組を紹介させていただきます。吾妻学園では、昨年度、地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、「ようこそ先輩」と題する卒業生や地域住民による授業を、キャリア教育の一環として実施しました。既存の枠組みを活用した地域学校協働活動の事例として、参考にしていただければと思います。

複雑化・多様化する社会の中で、子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を育成するためには、つくば市教育大綱の理念にもあるように、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもの育ちの場を支えることが必要不可欠となります。委員の皆様におかれましては、つくば市の教育の充実に向け、今後ともどうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

4 説明事項

事務局：社会教育主事の村上より「つくば市コミュニティ・スクールについて御説明させていただきます。

事務局(村上社会教育主事)：生涯学習推進課社会教育主事の村上と申します。よろしく願いいたします。わたくしのほうからは、

- 1 つくば市の教育が目指すもの
- 2 コミュニティ・スクールとは
- 3 つくば市で進めるコミュニティ・スクールとは

について御説明いたします。

まず、つくば市の教育が目指すものについて御説明いたします

配布されている教育大綱の冊子を手にとっていただき、1ページをお開きください。つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を送る、ことを最上位の目標に設定しています。次に7ページをお開きください。いま必要なことの中に、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもたちの育ちの場を支えることを位置づけています。

教育大綱に基づいたコミュニティ・スクールの導入をすることにより、今後地域の多くの人々が学校づくりに参画し、地域と一体となり、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと考えています。つくば市の学校教育を所管している学び推進課からは、「学び推進方針」を学校に示しています。みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園にするために、今年度特に意識していることは、子どもたちの「自己決定」ができる環境を整えていくことです。また、学び推進課では「伴走から自走というスローガン」のもと、各学校が生き生きと自走していけるように日々関わっています。

続いて、コミュニティ・スクールについて御説明いたします。具体的にコミュニティ・スクールとはどのようなものかを御説明いたします。コミュニティ・スクールとは、一言で言いますと地域とともに子どもを育む学校と言えます。コミュニティ・スクールのコミュニティは地域住民・保護者・学校であり、それらが、力を合わせて子どもたちの成長を支えていく学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいます。もっと踏み込んだ話をさせていただきますと、つくば市ではコミュニティ・スクール協議会という話し合いの場を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいます。

竹園学園は今年度、協議会と言って、法に位置付けられたコミュニティ・スクールの本格設置となります。

スライドでお示ししているのが、コミュニティ・スクール協議会の様子です。右上、校長先生が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明をしています。中段、下段の写真、熟議を行っています。

さて、それではなぜコミュニティ・スクールが必要なのでしょう。現在、学校では、「いじめ、不登校」、「教員の業務量増加」、地域では、「地域社会における支え合いやつながりの希薄化」など、様々な課題が挙げられます。また、新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有することが大切であると書かれています。これらのことから、学校と地域の課題を解決するために、学校と社会が目標を共有したり、地域と学校が連携して幅広い視点で子どもたちの成長を支えたりする必要があるのです。

それでは、具体的につくば市で進めるコミュニティ・スクールについて御説明いたします。つくば市コミュニティ・スクールには、スライドでお示ししている4つの機能があります。

①の機能として、学校運営の基本方針についての承認があります。

学校運営協議会では第1回目に学園長・学校長が学校運営の基本方針、いわゆ

るグランドデザインの説明を行います。

その基本方針に対して委員の皆様から承認を行うことからコミュニティ・スクール協議会がスタートしていきます。ただし、学校運営の責任者は校長であり、コミュニティ・スクール協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

②の機能としては、学校運営に意見を述べるということです。これから始まるコミュニティ・スクール協議会では、皆さんの様々な視点から御意見を頂ければと思っています。

③の機能として教職員の任用について意見を述べることができます。教職員の任用とは、学校とコミュニティ・スクール協議会が実現しようとする教育目標等に適った人材を求めることです。例えば、学年主任ができるリーダー性のある教員や外国語活動に力を入れたいので、授業力のある教員求めることなどです。

④の機能として学校評価があります。委員の皆様と学校の課題について共有したり学校評価について話し合ったりということをしていきます。先ほども申し上げましたとおり、竹園学園は今年度協議会という法に基づいた本格設置となります。

委員の立場としても特別職の地方公務員となり、スライドにお示ししているような責任のある立場となっていくしますので、御協力をお願いいたします。

委員の立場としても特別職の地方公務員となり、スライドにお示ししているような責任のある立場となっていくしますので、御協力をお願いいたします。

先ほど、「熟議」という言葉が出てきましたので、「熟議」について御説明いたします。「熟議」とは、どのような子どもを育てたいのか。何を実現したいのか。という目標・ビジョンを共有するために、「熟慮」と「議論」を重ねることを言います。ひとことで言うと「よくよく、話し合う」ということです。

熟議では、テーマに対して、委員それぞれの考えを付箋にしるし、模造紙に貼り付けていくというスタイルが多いです。熟議に参加する委員の方が、必ず意見を会議に反映してほしいという意図のもとこのようなスタイルをとっています。

スライドでお示ししているのは、コミュニティ・スクールを自転車に例えたイメージ図です。自転車で例えるならば、協議会で話し合った内容が前輪及びハンドルとなり、「育てたい児童・生徒像」やコミュニティ・スクールの在り方などの方向性を決める役割を担っています。そして後輪には、地域学校協働活動が位置付けられます。地域学校協働活動とは、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことです。コミュニティ・スクールでは、前輪の協議会で方向性が決まったものに対して、それを後押しするように地域と学校が連携して様々な活動を行っていきます。学校の教育活動に対して地域学校協働活動を進めていくことで、この自転車がスムーズに進むようになります。自転車がスムーズに進むようになるときは、今まで以上に学校と地域が連携し、学校を核とした地域づくりにつながっていくはずです。

地域学校協働活動の例を一つ御紹介いたします。昨年度、吾妻学園では、「よ

うこそ先輩」という学習において、ゲストティーチャーを地域学校協働活動推進員の方がコーディネートした授業を行いました。このように、地域学校協働活動が活発になると、地域の方々のかかわりが、児童生徒の幅広い視野をもつことにつながります。また、地域の方々とかかわることで、学校で学んでいることが社会でどのように役立っているかを理解することにもつながります。新しいことをやらなくてもよい 運営協議会の中で、何が必要か、何をしていくべきか、地域と学校が熟議し、ともに作り上げていくこと大切です。既存のものをベースに、まずは、「学校理解」「地域理解」から進めていければと思います。

今日お伝えしたいことをまとめます。

- ①つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を最上位の目標としていること
- ②コミュニティ・スクールは地域とともに子どもを育てる仕組みであること
- ③つくば市のコミュニティ・スクールには4つの機能・役割があること
- ④熟議を通して皆が共有することが大切であるということ
- ⑤地域と学校が連携した様々な活動 地域学校協働活動が始まることです。

つくばの未来の創り手となる 子どもたちのために御協力をよろしくお願いたします。以上になります。

事務局：ただ今の件につきまして、意見や質問はありますか。

5 会長・副会長の選出

事務局：協議の前に、会長と副会長の選出を行いたいと思います。選出につきましては、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則の第5条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」とあります。

昨年度、座長・副座長として活動していただいた鈴木敏一委員と松本祐輔委員は引き続き協議会委員になっていただいているので会長を鈴木委員に、副会長を松本委員にお願いしたいと提案させていただきたいと思います。皆様いかがでしょうか。

参加委員：承認

6 協議

(1) 学校運営の基本方針について

鈴木会長：それでは、各学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明及びグランドデザインを受けての特色ある教育活動について、各学校より御説明をお願いします。

○竹園学園長(茂在校長)：学園グランドデザイン(学園要覧)の説明

・竹園学園だよりの発行について

昨年度のコミュニティ・スクールで出た意見より、発行をすることにした

・学園要覧について

教育目標を「竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成」としている。

変化が激しい時代で知識を新たな価値にしていくことが求められている。
JAETの研究指定も受けている。さらに、幼・小・中・高が協力をしていくことが求められる。

○竹園東小学校(皆川校長)：竹園東小学校グランドデザインの説明

- ・まなびプロジェクト：JAETの研究を中心に進めている。
- ・こころプロジェクト：合理的な配慮を意識して取り組んでいる。
- ・あんしんプロジェクト：安心して健やかな学校生活を送れるよう取り組んでいる。
- ・わかたけプロジェクト：学活、特活に力を入れる。

○竹園西小学校(田中校長)：竹園西小学校グランドデザインの説明

教育目標「笑顔がいっぱい楽しい学校～課題にチャレンジ・よいところ発見・つながる喜び～」の中で、多様性を認めていくことが大切である。

○竹園東中学校(茂在校長)：竹園東中学校グランドデザインの説明

教育目標「国際社会に貢献できる人間力を育む教育の創造」

- ・主体的に取り組むことができる生徒の育成を目指している。
- ・目標の実現のためには、地域、保護者との連携が必要になる。

鈴木会長：先生方御説明ありがとうございました。先ほど教育局から説明がありましたように、コミュニティ・スクール協議会の機能の一つに、「校長が作成する学校運営の基本方針の承認」があります。委員の皆様にご覧いただき、グランドデザインへの承認をお願いしたいと思います。令和6年度竹園学園・各校のグランドデザインを御承認いただける方は拍手をお願いいたします。

参加委員：(拍手)

鈴木会長：ありがとうございました。校長先生方におかれましては、本内容にて学校運営をお願いいたします。

(2) 熟議

鈴木会長：続いて、熟議に移りたいと思います。ファシリテーターを竹園東中学校の大和田先生にお願いして、よろしいでしょうか。

大和田教頭：(承認)

鈴木会長：お引き受けくださりありがとうございます。では、先生よろしくお願ひいたします。

大和田教頭： 熟議のテーマ

「地域とともにある学校とは？」

～学校のハードル（バリア）を下げる方法～

①地域とともにある学校とは

②ハードル（バリア）を感じることは

- ・各グループでの熟議 10 分間

鈴木会長：熱心な御協議ありがとうございました。それでは、各グループで協議されたことの発表をお願いいたします。

A グループ

- ・登下校時に地域から挨拶をしていいものなのか分からない。
- ・学校が何を求めているのかが分からない。また地域が何をできるのかも伝えられない。もっとコミュニケーションを図りたい。
- ・地域の人材をもっと活用してほしい。

B グループ

- ・地域、保護者が学校の方針を理解する。
- ・卒業すると、学校とのつながりが希薄になる。
- ・ふらっと立ち寄れる学校（防犯が心配）にしていく必要がある。
- ・学校の活動を発信していく必要がある。

C グループ

- ・地域の人が気軽に学校に来ることができる環境を整えることが大切。
- ・子どもの成長を助ける。
- ・学校から地域に要望を出す。
- ・地域に依頼する際に、窓口となるところが分からない。

D グループ

- ・地域人材の活用をしていきたい。
- ・地域に支えられる学校をつくりたい。
- ・卒業後のかかわりが希薄である。
- ・学校からの情報発信が少ない。
- ・地域の人が自由に学校に行くことができるシステムの構築する必要がある。

E グループ

- ・学校が身近な存在であることが大切である。
- ・コミュニケーションが希薄になっている。
- ・防犯、働き方改革などもあるが、交流が少ない。
- ・各学校の取組が点になっているので、交流をして線にしていく必要がある。

鈴木会長：ただ今の発表について、御質問や御意見があればお願いします。

（ 後藤委員より ）

- ・ラーケーションの活用について
全県での実施は、茨城県のみ。地域との協力も進めていきたい。

（ 中嶋委員より ）

- ・学校や地域の方と連絡をとる際の窓口をどこにしたらよいのか。

（ 古久保委員より ）

- ・学校と地域を繋ぐことがこの会がある意義なので、私を窓口として繋いでいくことができるようにしていきたい。

(長谷川委員より)

・校内フリースクールについて

ハートフルSルームという名称でやっている。2名体制で運営。

村上社会教育主事：地域学校協働活動については、地域学校協働活動推進員が中心となって働きかける。

その中でも、いろいろな方が積極的に関わっていくことが大切である。

倉田委員：誰かが単独で動くのではなく、横のつながりが大切。

そのつながりの中心が学校であるとありがたいです。

長谷川委員：気軽に話しかけてくれれば、そこから繋がりをつくります

中嶋委員：繋がりをつくりたいが、連絡先が分からない

村上社会教育主事：学園によっては、委員同士で連絡先を交換して連携しているところもある。

鈴木会長：発表者の皆さん、ファシリテーターの大和田先生ありがとうございました。最後に委員のみなさんから何かありますでしょうか。

(3) その他

大和田教頭：次回のコミュニティ・スクール推進会議は令和6年10月17日(木)10時から、会場は竹園東小学校を予定しています。第3回は、令和7年2月19日(水)の10時から会場は竹園西小学校になります。

鈴木会長：それでは、進行を事務局へお返しいたします。皆様、スムーズな運営に御協力いただきありがとうございました。

事務局：鈴木会長、協議進行、ありがとうございました。本日の会議の内容は以上となります。

また、お手元に「つくば市コミュニティ・スクール評価ガイドライン」を配布させていただいております。こちらは、市教育委員よりコミュニティ・スクールの運営にあたり念頭においていただきたいと示されたものです。提出を求めるものではございません。折々において御活用いただければと思います。また、なお、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思っております。

7 閉会

本日の協議の内容は以上となります。なお、本日の会議の様子や写真について、つくば市ホームページへの掲載を予定しています。本日は、お忙しい中お

集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願
いいたします。

令和6年度第1回竹園学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和6年6月3日（月）

10：00～

場所：竹園東中学校 図書室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 教育長挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクールについて

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

・各校のグランドデザインの説明

(2) 熟議 テーマ

「地域とともにある学校とは？～学校のハードル（バリア）を下げる方法～」

(3) その他

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会

令和6年度 竹園学園コミュニティ・スクール協議会名簿

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	グループ
1	(1)地域住民	古久保 みどり	ふるくぼ みどり	竹園ぶらっと	A
2	(1)地域住民	今井 健之	いまい けんし	防災士(茨城県防災士協会)	A
3	(2)児童・生徒の保護者	太田 敬	おおた たかし	竹園東小PTA会長	D
4	(2)児童・生徒の保護者	松本 祐輔	まつもと ゆうすけ	竹園こどもまつり実行委員長	D
5	(3)地域学校協働活動推進員	倉田 廣之	くらた ひろゆき	つくば市教育長職務代理者	A
6	(3)地域学校協働活動推進員	中嶋 信美	なかじま のぶよし	元竹園東小PTA会長 元竹園東中PTA会長 R4竹園東中学校評議員	E
7	(3)地域学校協働活動推進員	後藤 秀一	ごとう しゅういち	元竹園西小PTA会長 現衆議院議員政策担当秘書	A
8	(4)学識経験者	稲垣 和希	いながき かずき	筑波大学スポーツリサーチアドバイザー	-
9	(4)学識経験者	鈴木 敏一	すずき としいち	竹園東幼稚園長	B
10	(4)学識経験者	辻 武晴	つじ たけはる	竹園高等学校長	-
11	(4)学識経験者	浜田 博文	はまだ ひろふみ	筑波大学教授	E
12	(4)学識経験者	長谷川 聖修	はせがわ きよなお	筑波大学体育系名誉教授	C
13	(4)学識経験者	谷池 正彦	たにいけ まさひこ	竹園西幼稚園長	-
14	(5)学校長	茂在 哲司	もざい てつじ	竹園東中学校長	A
15	(5)学校長	皆川 正美	みなかわ まさみ	竹園東小学校長	B
16	(5)学校長	田中 真樹子	たなか まきこ	竹園西小学校長	C
17	(6)教職員	大和田 哲也	おおわだ てつや	竹園東中学校教頭	B
18	(6)教職員	鈴木 優庸	すずき まさのり	竹園東中学校教務主任	E
19	(6)教職員	小神野 真人	おがみの まさひと	竹園東中学校副教務主任	C
20	(6)教職員	岡宮 敏	おかみや さとし	竹園東小学校教頭	C
21	(6)教職員	赤羽 岳彦	あかばね たけひこ	竹園東小学校教頭	A
22	(6)教職員	小松 有実	こまつ ゆみ	竹園東小学校教務主任	B
23	(6)教職員	大山 英樹	おおやま ひでき	竹園西小学校副校長	D
24	(6)教職員	永井 明子	ながい あきこ	竹園西小学校教頭	E
25	(6)教職員	吉村 哲一	よしむら のりかず	竹園西小学校教務主任	D
26	(7)関係行政機関の職員	北島 良巳	きたじま よしみ	竹園東児童館長	C
27	(7)関係行政機関の職員	窪庭 隆	くぼにわ たかし	竹園西児童館長	B
28	(8)教育委員会が適当と認める者	岩村 一代	いわむら かずよ	元竹園東中学校評議員	D
29	(8)教育委員会が適当と認める者	鷲田 美加	わしだ みか	元つくば市教育委員	E
30	(8)教育委員会が適当と認める者	田中 康海	たなか やすみ	民生児童委員(千現地区)	B

竹園学園3校のあゆみ

竹園東小学校 <学級数(普26・特支7) 児童数 808名>

S49.4 竹園東小学校開校(研究学園都市初の小学校)	H22.8 NHK 学校音楽コンクール「金賞」受賞
S51.4 文部省指定帰国子女教育協力校	H22.9 全日本小学校ホームページ大賞「茨城県最優秀賞」受賞
S52.2 CAI/ATシステム導入による情報教育開始 (日本で初めて学習にコンピュータ導入)	H23.12 文部科学副大臣主催「学校の情報化に関する懇談会」公開
S60.6 全国教育システム工学研究会つくば大会授賞式公開	H23.4 新校舎6教室増築、太陽光パネル設置 言語教育振興財団研究指定校
H10.4 聴覚学級「すずらん学級」設置	H23.8 TBS こども音楽コンクール「最優秀賞」受賞
H10.8 NHK 学校音楽コンクール「銀賞」受賞 以後14年連続入賞	H23.9 つくば市・筑波大学・インゲル社地域連携事業モデル校指定
H11.4 文部科学省「先進的ネットワークモデル地域事業」 指定校(～H15)、英語活動(1～6年生)開始	H23.11 小中一貫教育研究つくば市大会研究指定校
H11.10 市教育委員会「総合的な学習の時間」研究発表会	H24.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育研究推進校発表会
H13.4 小中連携教育開始	H25.11 第8回小中一貫教育全国サミット in つくば授賞公開校
H13.8 TBS こども音楽コンクール最優秀賞東日本優秀演 奏会出場(H 15.19～21.23)	H26.8 NHK 学校音楽コンクール「金賞」受賞・関東甲信越銅賞 TBS こども音楽コンクール「最優秀賞」受賞
H14.4 5、6年生教科担任制導入	H26.4 文部科学省調査研究事業「校評価の強化・充実に向けた実践研究」
H15.1 松下視聴覚財団「理事長賞」受賞	H26.11 第28回関東甲信越地区中学校理科教育研究会授賞式公開
H16.4 優れた読書活動の実践に対する「文部科学大臣 賞」受賞	H27.11 21世紀の学びを拓く ICT を活用した小中一貫教育研究大 会授賞式公開
H17.10 第21回時事通信社教育奨励賞「優秀賞」/「文部 科学大臣賞」受賞	H28.5 G7 科学技術大臣会合 in つくばメディア向け授賞式公開校
竹東幼・竹保との幼保小連携教育開始	H28.8 NHK 学校音楽コンクール「金賞」受賞 TBS こども音楽コンクール「最優秀賞」受賞 以後2年連続入賞
H21.1 小中一貫教育開始、言語教育振興財団研究指定校	H29.10 茨城県児童生徒科学作品展「げんてん財団学校賞」受賞
H21.8 NHK 学校音楽コンクール「金賞」受賞	H30.3 NHK 学校音楽コンクール「金賞」受賞
関東甲信越コンクール出場	H30.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育推進校研究発表会
H21.10 第35回全日本教育工学研究協議会全国大会茨城 つくば大会授賞式公開	R1.7 つくば市環境かるた大会4連覇
市教委指定「小中一貫教育の研究」(～H23)	R1.8 TBS こども音楽コンクール「最優秀賞」受賞
H22.4 言語教育振興財団研究指定校	R2.11 「人型ロボットペーパーと学ぶ最先端通商防災教育」公開授業
H22.8 「エネルギー教育実践」パイロット校指定	R4.11 茨城県総合教育振興基金理科教育優秀賞
	R5.11 創立50周年記念事業
	R6.1 東日本優秀演奏発表会出場
	R6.3 新校舎6教室増築

竹園西小学校 <学級数(普25・特支7) 児童数 838名>

H24 竹園西小学校開校(竹園東小学校の分館)	H20.11 茨城県数学教育研究会後期研究大会授賞式公開
H4.4 文部省「国際理解のための活動に関する調査研究」指定校	H21.4 小中一貫教育開始新校舎6教室増築、屋上緑化
H4.10 文部省指定「国際理解のための活動に関する調査研究」研究発表会	H21.10 第35回全日本教育工学研究協議会全国大会茨城つくば大会授賞式公開
H7.4 文部省帰国子女教育推進地域指定協力校 茨城県教育委員会「多様な指導方法の研究」研究指定校	H22.4 つくば市教育委員会指定「小中一貫教育の研究」(～ H 23)
H10.11 第40回関東ブロック音楽教育研究大会授賞式公開	H23.4 つくば市教育委員会「小中一貫教育の研究」指定校(～H24)
H11.4 文部科学省「先進的ネットワークモデル地域事業」指定校(～ H15) 英語活動(1～6年生)開始	つくば市教育委員会「幼保小連携教育」指定校
H13.4 小中連携教育開始	H23.11 小中一貫教育研究つくば市大会研究指定校
H14.4 5、6年生教科担任制導入 文部科学省保健統計調査指定校	H24.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育研究推進校研究発表会
H15.6 文部科学省「特別支援教育推進体制事業」指定校	H25.11 第8回小中一貫教育全国サミット in つくば授賞公開校
H16.4 文部科学省「帰国・外国人児童生徒とともに関わる教育の国際化推進事業」指定校 国立科学博物館筑波実験植物園「植物園を利用した学校教育の あり方に関する実践研究」指定校	H26.4 文部科学省調査研究事業「校評価の強化・充実に向けた実践研究」
文部科学省「ネットワーク配信コンテンツ活用推進事業」指定校	H 26.11 第28回関東甲信越地区中学校理科教育研究会授賞式公開
H 18.4 つくば市教育研究会(国語科)研究指定校 竹西幼との幼小連携教育開始	H 27.11 21世紀の学びを拓く ICT を活用した小中一貫教育研究大会授賞式公開
H 18.10 国際理解教育及び帰国・外国人児童生徒教育研究協議会授賞式公開 (国際交流会)	H28.9 第60回茨城県児童生徒科学作品展つくば市展「学校賞」受賞
H 19.11 つくば市教育研究会指定校公開授業(国語科)	H 28.12 つくば市サイエンスキッズリーグ2016「金賞」受賞
	H 30.4 小学校プログラミング教育推進事業協力校
	H 30.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育推進校研究発表会
	R 1.4 茨城県理科教育担任制モデル校
	R2 小学校英語教育マネジメント推進校
	R4. 11 NITS「学び続ける教師をめざして」校内研修公開
	R4. 2 茨城県教育広報・NIEコンクール 学校奨励賞
	R5.2 茨城県教育広報・NIEコンクール 優秀賞 第14回新聞感想コンクール 優秀学校賞
	R5年度～6年度 茨城県NIE実践指定校

竹園東中学校 <学級数(普16・特支5) 生徒数 545名>

S494 竹園東中学校開校(研究学園都市初の中学校)	H24.10 全日本合唱コンクール全国大会銀賞受賞
S544 茨城県教育委員会「個人差に対応する学習指導法研究」指定校 (～S55)	H24.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育研究推進校研究発表会
S564 茨城県教育委員会「表現力の基礎を養う英語の指導法研究」指 定校(～S57)	H25.11 第8回小中一貫教育全国サミット in つくば授賞公開校
S594 日本教育工学「教育機器利用による学習指導法研究」指定校 (～S60)	H26.2 第30回信谷教育振興財団理科教育優秀校
S604 「国際化に対応する英語教育研究」指定校(関プロ)(～S61)	H26.4 文部科学省調査研究事業「校評価の強化・充実に向けた実 践研究」
H24 茨城県教育委員会ボランティア活動研究指定校(～H4)	H26.5 中谷医工計測技術振興財団教育助成
H3.4 文部科学省「個性伸長・能力開発を目指す教育課程研究」指定校(～ H4)	H26.10 関東音楽研究会 茨城大会 研究演奏発表会(9年生)
H8.4 つくば市教育委員会(道徳・特活)研究指定校(～ H9)	H26.11 第28回関東甲信越地区中学校理科教育研究会授賞式公開
H9.12 文部科学省「科学技術庁理科教育センター校」指定校	H27.11 21世紀の学びを拓く ICT を活用した小中一貫教育研究大 会授賞式公開
H10. 第40回関東音楽教育研究大会授賞式公開	H28.8 NHK 学校音楽コンクール「金賞」受賞
H11.6 第17回関東ブロック中学校社会科教育研究大会授賞式公開	H28.10 学校情報化先進校認定
H13.4 小中連携教育開始	H29.4 パソコン教育財団実践研究指定校
H14.3 聴覚学級「空想学級」の設置	H29.5 国立教育政策研究所実践研究校
H18.4 学校図書館資源共有化推進ネットワーク事業モデル校	H30.2 県南農林事務所緑化事業認定校
H19.4 つくば市教育委員会(教育課程)研究指定校(～ H20)	H30.11 つくば市教育委員会指定小中一貫教育推進校研究発表会
H20.4 文部科学省「学校支援地域本部事業」指定校	R1.11 教室棟新築
H21.3 教室棟新築	R1.12 TBS こども音楽コンクール「最優秀賞」受賞、東日本優秀演 奏会(合唱)出場
H21.4 小中一貫教育開始	R5.11 創立50周年記念事業
H21.10 第35回全日本教育工学研究協議会全国大会茨城つくば大会授賞式公開	
H22.4 つくば市教育委員会指定小中一貫教育の研究(～H2)	
H23.11 小中一貫教育研究つくば市大会研究指定校	



小中一貫教育校

竹園学園

竹園から世界に羽ばたく児童生徒の育成

竹園東中学校



竹園西小学校



竹園東小学校



Creative
Takezono

竹園東小学校

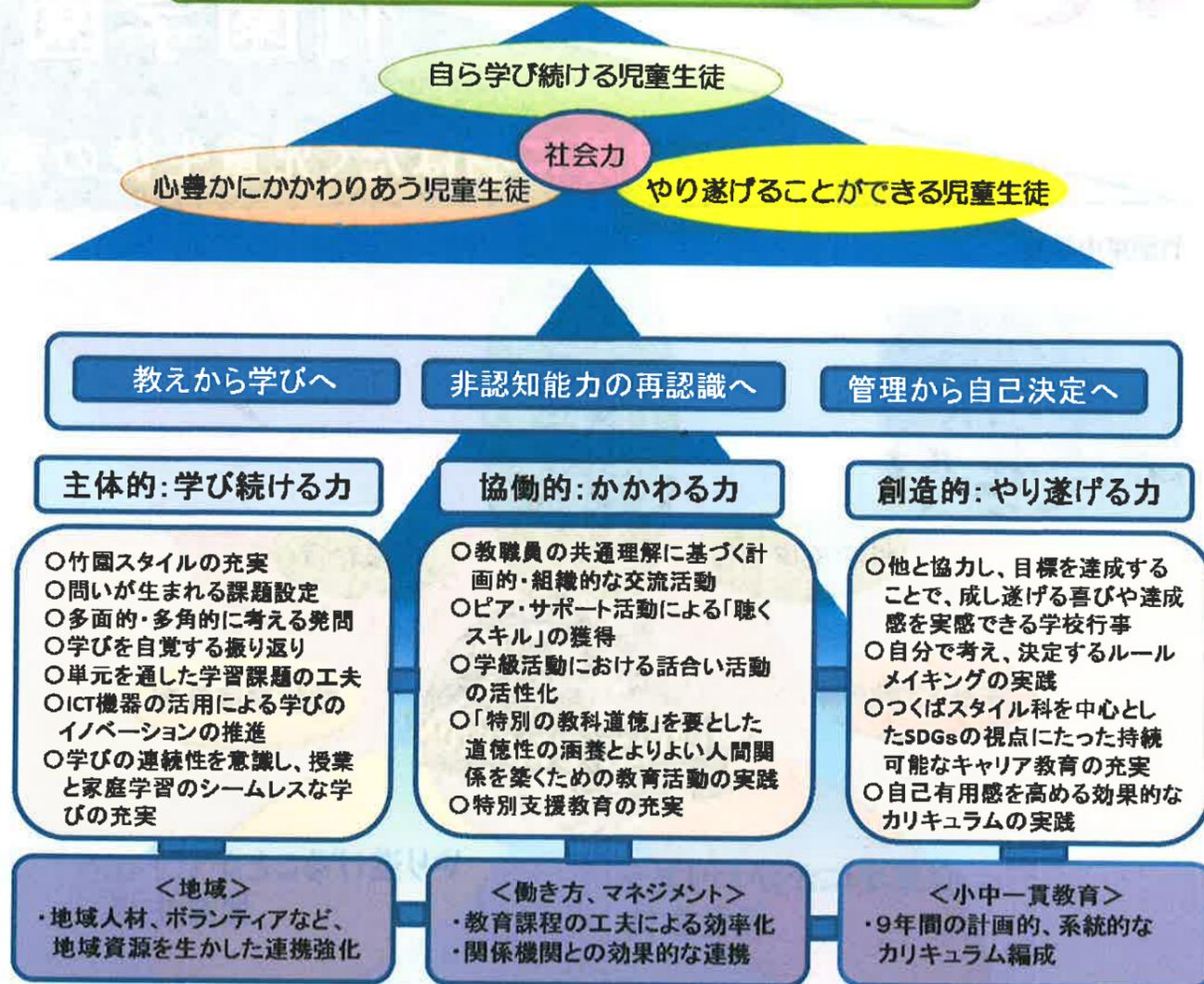
竹園西小学校

竹園東中学校

〒305-0032	つくば市竹園 3-13	TEL 029-851-2032	FAX 029-851-2254
〒305-0032	つくば市竹園 2-19-4	TEL 029-851-7975	FAX 029-851-2304
〒305-0032	つくば市竹園 3-11	TEL 029-851-3467	FAX 029-851-2385

竹園学園グランドデザイン 2024

竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成



【研究テーマ】

児童生徒の主体性を高め、協働力、創造力を育成する教育
～多面的・多角的な視点から熟考する活動を通して～



「竹園スタイルの学び」を深める授業研究



竹園学園から発信するランタンアート



合意形成を目指した話し合い活動

9年間で目指す竹園の児童生徒像

CREATIVE TAKEZONO 自主 実践 創造

自ら学び続ける

前期 (1~4 学年)

- ・目標をもって課題を追究する。
- ・ICTを活用し、楽しく学ぶ。



つくばスタイル科 (プレゼンテーション)

中期 (5~7 学年)

- ・共に学び高め合う。
- ・習得した知識・技能を生かし自分の考えを表現する。



小中合同学習会(キャリア教育)

後期 (8・9 学年)

- ・相互に表現したことをもとに、自分の考えを深める。
- ・好奇心をもって探究する。



対話を取り入れた協働的な学び

心豊かにかかわりあう

- ・伝統や文化を大切にし郷土を愛する。
- ・外国語を用いて楽しくコミュニケーションを図る。



外国語活動

- ・異なる文化や考え方を尊重する豊かな国際感覚を養う。
- ・日本人としての自覚をもち世界の人々と親善に努める。



つくばスタイル科(国際交流会)

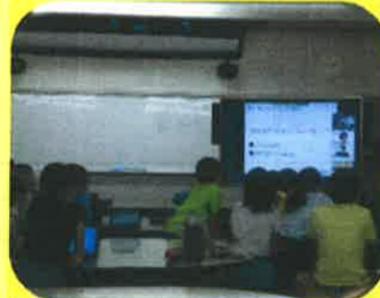
- ・それぞれの個性や立場を尊重しながら自らの思いや願いを表現する。



平和のメッセージ (9 学年合唱)

やり遂げる

- ・自分たちの学校に必要なルールを話し合い、つくり上げる活動



ルールメイキングプロジェクト

- ・SDGsの視点にたった持続可能な活動
- ・国際感覚の醸成



服のチカラプロジェクト

- ・学級や学校の一員としての自覚をもち、互いに協力してよりよい校風を樹立する。



生徒評議員による学校紹介



1人1台端末の活用



職場体験報告会(キャリア教育)



竹園学園

Creative Takezono
竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成

県の方針

すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり

市の方針

みんなが幸せを実感できる
学園・学校・幼稚園

学校教育目標

国際社会に貢献できる人間力を育む教育の創造

自主
実践
創造

組織目標

- ・ 問いの発見と解決に向けた主体的、探究的な学びの充実
- ・ 人と心豊かに関わる力の育成
- ・ 生徒の自己指導能力の育成

教えから学びへ

非認知能力の
再認識へ

管理から
自己決定へ

「竹園プライド」と「人の心がわかる心」の重視

主体的に学び続ける
生徒の育成

- 問いが生まれる課題設定による主体的、探究的な学びの推進
 - ・ 「竹園スタイルの学び」による授業改善
 - ・ アウトプットと振り返りを重視した授業づくり

- ICTの効果的な活用による個別最適な学びの推進
 - ・ 一人一台端末を活用したシームレス教育の推進
 - ・ 遠隔授業の充実

【数値目標】

- ・ 自ら進んで学習課題を解決している (85%以上)
- ・ ICTを使った授業は分かりやすい。 (85%以上)

心豊かに関わり合う
生徒の育成

- 人と心豊かに関わる力を育む教育活動の充実
 - ・ 考え、議論する道徳の授業の推進
 - ・ 相手を思いやる心を育てるピア・サポート活動の充実
 - ・ 自己有用感を高める小中一貫交流活動の継続
- 人権意識を育てる教育活動の充実
 - ・ 教育的ニーズに応じた特別支援教育の理解と充実
 - ・ 外国人生徒等の多様性への対応

【数値目標】

- ・ 生徒主体の竹園東中をつくらうとみんなで協力することができる。 (90%以上)

やり遂げることが
できる生徒の育成

- 自己決定の場を重視した特別活動と生徒指導の充実と進化
 - ・ 自分たちの課題を主体的に解決する学級活動の活性化 (ルールメイキング)
- 自己判断力、自己指導力を育てる教育の推進
 - ・ つくばスタイル科の充実によるつくば次世代型スキルの育成
 - ・ キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実

【数値目標】

- ・ 何事も自ら考え、判断し、粘り強くやり遂げることができる。 (90%以上)

研究主題

生徒の主体性を高め、協働力、創造力を育成する教育
～多面的・多角的な視点から熟考する活動を通して～

○ 地域、保護者との連携による学校づくり

コミュニティ・スクールの推進

○ ワークライフバランスを重視した働き方改革の推進

竹園学園 つくば市立竹園東小学校グランドデザイン

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きとした学校～



竹園学園 ～Creative Takezono～

竹園から世界にはばたく児童生徒の育成



➤ 本校の教育目標

未来をひらき、国際社会で活躍できる児童の育成

➤ 目指す学校像

ひびき合い、高め合う楽しい学校

➤ 学校経営の重点

- | | | |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 学校組織マネジメントによる運営 | ・プロジェクト型組織による学校運営の活性化 | ・学校評価、教員評価の活用と教育力の向上 |
| 2. 教育課程の創造 | ・小中一貫教育の充実 | ・「教えから学びへ」の転換を図った授業改善 |
| 3. 同僚性のある教師集団づくり | ・連携、協働による教育活動の展開 | ・職員研修の充実による教員の資質能力の向上 |
- ・つくば市 GIGA スクール構想の推進
・働き方改革の推進

➤ 組織目標

- 問いを探究し、自分の考えを発信できる授業づくり
- 個性の伸長を図り、社会的資質や行動力を高める学年・学級づくり

➤ 目指す児童像

自ら学び続ける児童

心豊かに関わり合う児童

やり遂げる児童

まなびプロジェクト

個別最適な学びと協働的な学びの実現

- 「教えから学びへ」の転換を図った授業改善
 - ・竹園スタイルの学び（主体的・協働的・創造的・個別最適な学び）を軸とした探究的な学びの推進
 - ・探究的な学びを意識した単元構成
 - ・主体的な家庭学習の推進
- ICT教育の推進
 - ・ICT機器を効果的に活用した授業の構築と実践
 - ・1人1台端末を活用したシームレス教育の推進
 - ・ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びの推進

【数値目標】

- ・自分から進んで学習課題を解決している (85%) [R5 年度回答 83%]
- ・コンピュータを使った授業は分かりやすい (85%) [R5 年度回答 83%]

こころプロジェクト

一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実

- 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進
 - ・全教職員の取組による校内支援体制の強化
 - ・特別支援教育の視点を生かした学級経営・授業の工夫
 - ・特別支援学級・通級指導教室における支援の充実
- 外国人児童等の多様性への対応
 - ・日本語指導教室での授業の充実
 - ・日本語指導教員と在籍学級担任との綿密な連携

【数値目標】

- ・学校は、子供の気持ちに寄り添いながら教育活動に当たっている (92%) [R5 年度回答 91%]
- ・先生は自分を認め、褒めてくれる (85%) [R5 年度回答 80%]

あんしんプロジェクト

安心で健やかな学校生活の構築

- 安心な生活基盤の構築
 - ・基本的な生活習慣の推進
 - ・情報の共有によるいじめ、不登校等への迅速、丁寧な対応
 - ・教育相談体制の充実
 - ・校内フリースクールの有効活用
- 健康・安全に関する自己管理能力の育成
 - ・安全教育の推進と環境の整備
 - ・養護教諭と連携した保健教育の充実
 - ・体力の向上を目指す体育授業の改善
 - ・休み時間の外遊びの励行

【数値目標】

- ・きまりを守って生活している (94%) [R5 年度回答 94%]
- ・安全に気を付けて生活している (94%) [R5 年度回答 93%]

わかたけプロジェクト

互いに認め合い高め合う集団づくり

- 認め合う学級集団づくり
 - ・「心の居場所」となる学級づくりと互いに認め合う人間関係づくり
 - ・学級や学校生活をよりよくするための話し合い活動の充実
 - ・児童が自己決定する場の確保
 - ・係活動や委員会活動の充実
 - ・児童の心に響く道徳科の授業実践
- 異学年児童による関わりの合いの推進
 - ・異学年児童班「縦割りの班」での交流による温かな集団づくり
 - ・低学年を中心とした保幼小連携事業「わかたけ会」の推進

【数値目標】

- ・学校が楽しい (90%) [R5 年度回答 86%]
- ・友達のおよそな頑張りを見付けている (85%) [R5 年度回答 81%]

➤ 「地域・保護者と児童を育む学校」づくりの推進

- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・学校支援ボランティアの有効活用
- ・ホームページや各種便りによる情報発信



2024(令和6)年度竹園学園つくば市立竹園西小学校グランドデザイン

【茨城県教育目標】
ひとりひとりの能力を
開発し豊かな人間性を
培う
しょうぶな身体をつく
りたくましい心を養う
郷土を愛し協力しあう
心を育てる

【竹園学園教育目標】竹園から世界へ羽ばたく児童生徒の育成

【竹園学園(小中一貫教育)9年間で目指す児童生徒像】 CREATIVE TAKEZONO 自主 実践 創造
自ら学び続ける・心豊かにかかわりあう・やり遂げることができる児童生徒
(社会力の育成)

【つくば市学校教育指針】
みんなが幸せを実感できる学園・
学校・幼稚園～自己実現できる学
校・みんなで支え合い、みんなが
生き生きとした学校～

【つくば市教育大綱】
一人ひとりが幸せな人生を送ること

【学校教育目標】

笑顔がいっぱい楽しい学校ー課題にチャレンジ・よいとこ発見・つながる喜びー

【組織目標】

- 1 学んだことを基に自分の考えを表現できる授業づくり
- 2 互いのよさやがんばりが実感できる学級づくり
- 3 持ち味を生かして協力し合う学校づくり

目指す教師像

- 学び続ける
- 人間性豊か、使命感をもつ
- 他者と協働し目標の具現化を図る

創造的：目標に向かってやり抜く

- 他者と協力し、目標を共有して体験活動や学校行事に取り組みできるようにする。
 - 児童自身が考え、学級や学校をよりよくするためのルールメイキングを行う。
 - ・決定したことは実行する。
 - つくばスタイル科での学びを発信する。(探究的な学び)
 - ・課題発見⇒協働解決⇒STEAMの力⇒相手意識、目的意識をもって発信
- 【数値目標】新しい考えに気付くことができる。 87% (学校評価の肯定的回答)

【校訓】

なかよく(徳)
かしこく(知)
たくましく(体)

管理から
自己決定へ

主体的：自分の考えを表現できる

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「竹園スタイルの学び」による授業改善

- ・問いから課題を生み出す
- ・対話が生まれる発問
- ・多面的・多角的な視点から熟考する活動
- ・ICT活用と教科の見方・考え方の視点からの振り返り

○単元を通じた探究的な学びと見取り

- ・単元を通して身に付けたい3つの資質能力(ゴール)の明確化
- ・新たにチャレンジできる課題の準備
- ・ICT・新聞・本の積極的活用

【数値目標】自分の考えを相手に分かるように伝えられる 80%
友達の意見を受け入れ、新しい考えに気付くことができる 80%

教えから
学びへ

協働的：よさやがんばりが実感できる

- 自分から進んで相手に伝わるあいさつをする。
 - 間違いや失敗から学べる学級経営
 - ・聞き合い、「教えて」と言える関係づくり
 - ・よいこととして認め合う場の設定
 - ・スモール・ステップの目標づくりと成功体験につながる支援
 - 自他共に異なる意見や多様性の尊重
 - ・話し合い活動の位置付け
 - ・縦割り班活動での異学年交流・居住地校交流における体験
 - いじめの未然防止
 - ・児童による課題解決のための話し合い、合意形成、意思決定
- 【数値目標】自分から進んであいさつをしている 90%
友達のよさやがんばりをみつけている 90%
いじめはどんなことがあってもいけないことだ 100%

認知能力偏重
から非認知能力の再認識へ

【研究テーマ】

児童生徒の主体性を高め、協働力、創造力を育成する教育ー多面的・多角的な視点から熟考する活動を通してー

小中一貫教育

- 9年間の系統表に基づく指導改善
 - 9年間の学びの蓄積・つながりを踏まえたキャリア教育
 - ・ICT、「いばらきキャリア・パスポート」の活用
 - 学園企画会・研修会での「クリティカルな思考」理解の深化
 - 学園保健委員会での共通課題とその対策
 - 想定外を想定した避難訓練の実施
- 【数値目標】9年間の学びの連続性を意識している 100%

特別支援教育の推進

- 自己のもつ能力や可能性の伸長
 - ・一人一人の教育的ニーズの把握・情報共有
 - ユニバーサルデザインの視点による授業・環境づくり
 - 保幼小中及び関係機関等との連携
 - ・個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用
 - ・保護者との定期的な面談の実施
- 【数値目標】心配なことがあったら相談できる 95%

社会に関われた教育課程 安全・安心な学校づくり

- OPTAボランティアや外部講師のリスト作成・活用
 - コミュニティ・スクールでのビジョンの共有、地域との連携・協働
 - スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの協力体制
- 【数値目標】地域資源や人材を活用した教育活動の実践 70%

教員の資質向上と働き方改革の推進

- 週2日5時間の週時程・児童と向き合う時間の確保
 - 得意な分野で学校運営参画意識の向上
 - ・教職員との対話(働きやすさ×働きがい)で幸福度アップ
- 【数値目標】職員の平均時間外在校等時間月4.5時間以内
年間36.0時間以内

【本校の課題】R5年度学校評価アンケート達成肯定評価80%以下の項目

- 休み時間はからだを動かしている 児童75.8% 保護者84.3% 教職員85.3%
 - 自分の考えを相手に分かるように伝えられる 児童78.2% 保護者77.9% 教職員85.3%
 - 地域の資源や人材を活用している 教職員55.0%
 - 昨年度より、勤務時間の在校時間が短くなっている 教職員76.5%
- ★R5年度平均時間外在校等時間28.35時間

【本校のよさ】★研修による授業力向上 教職員97.1% ★学校の勉強は分かる 児童93.3% ★学校は楽しい 児童89.0%